

附属病院

総合診療部

著書

- 1 小泉俊三, 郡 義明, 松村理司, 井村 洋, 八田和大: レジデント初期研修マニュアル(第3版) 2003 医学書院.
- 2 小泉俊三, 木川和彦, 箕輪良行: 聞き書き卒後臨床研修ニュービジョンー必修化時代の病院の選び方ー2003 三輪書店.
- 3 小泉俊三: 学問としての医学教育学. アメリカ・カナダ医学留学へのパスポート vol.2. 財団法人日米医学医療交流財団 編, p167~171. 2003 はる書房.
- 4 小泉俊三: 医学医療教育用語辞典(複数項執筆). 日本医学教育学会 医学医療教育用語辞典編集委員会, 2003 照林社.
- 5 小泉俊三: 医学大辞典(複数項執筆)(伊藤正男, 井村裕夫, 高久史磨編), 2003 医学書院.
- 6 小泉俊三他31名監訳, 福井次矢, 黒川清監修: ハリソン内科学, 2003 メディカル・サイエンス・インターナショナル.
- 7 小田康友: 基本的診察法. 小泉俊三, 郡 義明, 松村理司, 井村 洋, 八田和大 編: レジデント初期研修マニュアル 第3版. 49-96. 医学書院. 東京 2003.
- 8 小田康友: 医療面接. 小泉俊三, 郡 義明, 松村理司, 井村 洋, 八田和大 編: レジデント初期研修マニュアル 第3版. 101-106. 医学書院. 東京 2003.
- 9 小田康友: 症例提示. 畑尾正彦 監修, 青木 誠, 大滝純司, 箕輪良行, 他編: 臨床研修マニュアル. 19-20. 羊土社. 東京 2003.

学術論文

- 1 江村 正: ミシガン州立大学家庭医療学指導医研修プログラムに参加して(1) 教育の鉄則を学ぶ. JIM 13: 66-67, 2003.
- 2 江村 正: ミシガン州立大学家庭医療学指導医研修プログラムに参加して(2) 卒前教育でここまでやる. JIM 13: 163-165, 2003.
- 3 江村 正: ミシガン州立大学家庭医療学指導医研修プログラムに参加して(3) 興味深いカリキュラムの紹介. JIM 13: 264-265, 2003.
- 4 江村 正: ミシガン州立大学家庭医療学指導医研修プログラムに参加して(4) 地域医療研修のモデル. JIM 13: 370-371, 2003.
- 5 江村 正: ミシガン州立大学家庭医療学指導医研修プログラムに参加して(5) 卒後研修. JIM 13: 472-473, 2003.
- 6 江村 正: ミシガン州立大学家庭医療学指導医研修プログラムに参加して(6) 卒後研修の評価. JIM 13: 550-552, 2003.
- 7 江村 正: ミシガン州立大学家庭医療学指導医研修プログラムに参加して(7) 内科医の発想にとられない真の家庭医療を. JIM 13: 645, 2003.
- 8 山本和利, 山科 章, 小泉俊三: 動悸患者への総合的アプローチ(座談会). 月刊カレントセラピー 2003 Vol.21 No.8 p70~77(776~783).

- 9 田村遵一, 梶井英治, 小泉俊三: 総合診療と不明熱(座談会). 月刊カレントセラピー 2003 Vol. 21 No.12 p90~94(1160~1164).
- 10 小泉俊三: 佐賀県健康プラン—健康日本21を先取りして—(4-20-S-5-6), 第26回日本医学会総会誌〔I〕 2003・福岡 p39.
- 11 小泉俊三: エビデンス~その臨床応用にあたって. SRL 宝函別冊 EBD フォーラム2002 p43~49 2003 エスアールエル・八王子ラボ.
- 12 小泉俊三 総合診療の現状と展望 I. 総合診療の必要性: 歴史的・社会的背景 日本内科学会雑誌 第92巻 第12号 (2003) pp.2319~2325.
- 13 小田康友, 小泉俊三: 腹部の診察(直腸診を含む). 「medicina」編集委員会編: 臨床研修コアスキル. Medicina 増刊号 2003 Vol.40 No.12. 104-109, 2003.
- 14 Oda Y, Onishi H, Samashiro S, Koizumi S: The assessment of undergraduate curriculum of communication skills evaluated by performance measurement using actual outpatient satisfaction. General Medicine, Vol.4 No.1, 1-6, 2003.
- 15 山田雅彦, 花谷誠也, 岩永智代, 毛利貴子, 山下友子, 稲田博道, 小田康友, 山城清二, 小泉俊三: 具体的面接技法の設定による気分, 感情の問題に対する検出, その効果—予備調査 Jpn. J. Prim. Care vol.26(1) 52-56, 2003.
- 16 山田雅彦, 山城清二, 小田康友, 稲田博道, 山下友子, 花谷誠也, 毛利貴子, 副島 修, 江村 正, 小泉俊三: うつ病の診断基準に満たないうつ要因を持つ身体症状に対する治療 心療内科, 7(1): 82-86, 2003.
- 17 Direct cell-cell interaction of cardiomyocytes is key for bone marrow stromal cells to go into cardiac lineage in vitro Shinya Fukuhara, Shinji Tomita, Seiji Yamashiro, Takayuki Morisaki, Chikao Yutani, Souichiro Kitamura, Takeshi Nakatan. The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery, 125(6): 1470-1480, 2003.

学会発表

- 1 小田康友, 吉田素文: OSCE ステーションの設定と評価者の役割. 第35回医学教育学会. 2003, 7, 25-26. 医学教育 34, 20 (work shop).
- 2 山田雅彦, 毛利貴子, 副島 修, 江村 正, 山城清二, 小泉俊三, 花谷誠也, 山下友子, 稲田博道: 不安, 抑うつ, 身体表現性障害における認識パターンと ICPC2 コード分布の差異. 第26回プライマリ・ケア学会学術集会. 2003. 6. 22. 日PC誌 26 Suppl. 152, 2003.
- 3 山城清二, 小泉俊三: 医学生への EBM 教育の取り組み. 第35回日本医学教育学会. 2003. 7. 26. 医学教育 34 Suppl. 63, 2003.
- 4 Yamashiro S, Yamada M, Emura S, Oda Y, Inada H, Hanatani M, Yamashita T, Soejima S, Mouri T, Inoue M, and Koizumi S: What Factors of Patient Make Doctors Feel Difficulty in the Outpatient Clinic? 26th Annual Meeting of Society of General Internal Medicine. Vancouver, BC, Canada, 2003.
- 5 山城清二, 山田雅彦, 江村 正, 小田康友, 稲田博道, 山下友子, 花谷誠也, 副島 修, 毛利貴子, 井上真由美, 小泉俊三: 外来担当医からみた通院患者の問題点類別化. 第11回日本総合診療医学会. 北海道. 2003.
- 6 山城清二, 武田裕子: 研修医教育担当者のためのスモールグループディスカッション第11回日本総

合診療医学会，北海道，2003.

- 7 山城清二：内科専門医による CPC(司会)宇都宮俊徳，二宮 清，(症例提示者)徳田安春，(discussants) 山城清二，高野義久，浅野嘉延，司城博志，(commentators) 大島孝一，鈴宮淳司：第100回日本内科学会総会，福岡，2003.
- 8 山下友子，山田雅彦，江村 正，稲田博道，小田康友，山城清二，小泉俊三：当科における意識障害の検討～神経調節性失神を中心として～. 第11回日本総合診療医学会. 北海道. 2003. 3. 1. 日本総合診療医学会会誌 8 Suppl. 60, 2003.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	小泉 俊三	平成14年，15年度厚生労働科学研究費	医療技術評価 総合研究事業	臨床研修医を対象としたE BM普及支援システム開発に関する研究	12,000
教授	小泉 俊三	平成15年度厚生労働科学研究費	厚生労働特別 研究事業	医療事故リピーターの特徴及びその把握と再教育・処分制度のあり方についての研究	11,000
助手	山田 雅彦	平成14年，15年度プライマリ・ケア学会宿題研究	研究助成	「プライマリ・ケアにおける面接技法」	各年度 200

医 療 情 報 部

学術論文

- 1 Muro M, Shono H, Shono M, Uchiyama A, and Iwasaka T: Diurnal variations in baseline fetal heart rate, maternal heart rate and movement in a twin pregnancy. *Sleep and Biological Rhythms* 1: 159-161, 2003.
- 2 高崎光浩，服部佳代子，北原真里子，溝口明美，大島玲子，浦山 緑，内野秋子，和田米敏，井原貴子：助産・看護専門職者による子育て支援インターネットサイトの構築と運用効果—子育てふれあいネットワーク「未楽来(みらくる)」—. *医療情報学*. 22(5)：391-398, 2002.
- 3 高崎光浩，片岡典子，庄野秀明，十時忠秀：佐賀医科大学医学部附属病院における安全管理対策の改善—web版インシデント・アクシデント速報システム導入による効果—. *国立大学医療情報部門連絡会議論文集 H14*：121-124, 2003.
- 4 高崎光浩，水主いづみ：看護教育におけるコンピュータとICTの活用. *看護展望* 28(1)：94-100, 2003.
- 5 高崎光浩，竹熊麻子，谷口初美，井上悦子：看護教育におけるICT活用の現状と将来. *看護展望* 28(3)：83-90, 2003.

学会発表

- 1 Maeda Y, Muro M, Shono M, Uchiyama A, Shono H, Iwasaka T: Analysis of the diurnal variation in fetal heart rate baseline in twin pregnancy. 1st World Congress of Chronobiology. 2003, 9, 10.
- 2 室 雅巳，庄野秀明，内山 章，庄野真由美，前田祐里，岩坂 剛：双胎間の退治基準心拍数の差